

RPPC メールマガジン 第 816 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 3 月 18 日）

■事務局からのお知らせ

山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付しました。

～詳細は添付ファイルをご確認ください～

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.直轄港湾事業 品質確保調整会議を設置、来年度入札契約等

国土交通省港湾局は、令和 2 年度直轄港湾事業の実施にあたり、休日確保を踏まえた適切な工期設定や設計変更等に柔軟に対応するため、全工事・業務を対象に「品質確保調整会議」を設置することを決めた。4 月 1 日以降に実施する案件に適用する。

このほか入札契約制度において、来年度は新たに工事期間中交替制や施工能力アップ等による休日確保を容認する「休日確保評価型試行工事（工期指定型）」を創設するほか、「休日確保評価型」の加点の見直し等を行う。また、作業船保有等の総合評価加点（見直し・新規）や、新たに「海洋・港湾構造物設計士（民間資格・沿岸技術研究センター）」を総合評価で加点評価する。このほか、ICT活用事業の拡大、プレキャスト部材等の積極的な活用を図っていく方針。

2.港湾局 中長期事業見通し明示へ。港湾毎に今秋まとめ

国土交通省港湾局は、今年秋頃までに港湾毎の「中長期事業の見通し（概ね 20 年間）」を明示する方針を固めた。担い手の育成・確保や、港湾整備に必要となる作業船の維持等に寄与することが狙いで、新規採用や作業船購入のための資金調達等を後押しする。

事業見通しについては、港湾計画や事業評価、長期構想、予防保全計画等に基づき、とりまとめる見込みで、記載内容については、各地方整備局等で今後検討を進めていく。例年秋以降に実施している各業界団体等との意見交換会までに資料を作成することを目指している。

3.福井県 敦賀港将来計画＝長期構想委員会へ

福井県は新年度予算案で敦賀港将来計画策定事業に8740万円を計上した。令和元年度から3年計画で進めている策定事業の2年目になり、将来計画の検討と環境アセスメントを行う。

敦賀港では施設規模や配置など長期的な利活用の方針を定め、港湾機能の強化や荷役の効率化を進めるため、港湾計画を改訂する。新年度の事業内容は将来計画の検討（長期構想、港湾計画）と環境アセスメント（現況調査、影響シミュレーション）など。

4.広島港宇品地区ふ頭再編事業、2年度に工事着手見込み

中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所が計画を進めて来ている広島港宇品地区のふ頭再編事業は令和2年度から現地着工になる見込み。同再編事業では耐震強化岸壁として、ふ頭の液状化対策を行うことになっているため、同工事の支障となる県営上屋の撤去工事を実施してきている。現在も上屋の最後となる2号棟の撤去工事を入札手続き中だが、過年度までに前面上屋の撤去は終わっているため、岸壁再編に伴う施工が可能なエリアが確保できしており、2年度予算で、液状化対策工事などに着手していく見込み。

【港湾空港タイムス 03月16日号から編集】



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp



■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。